



2023 年度  
第 11 号

# 体育市民連帯 ニュースレター

大韓民国スポーツの

根本的変化を

皆さんと共に

作って行きたいです

体育市民連帯と共に

していただけますか？

1  
今は  
大韓サッカー協会の時間  
青少年自殺で  
加害者重懲戒質疑書を伝達



2  
金浦FCユースチーム  
遺族の絶叫  
息子よ、  
お父さんが必ず解決する



3  
大韓サッカー協会  
ユース選手自殺  
金浦FC 懲戒  
手続きに着手



4  
大韓体育会  
2023 年種目別  
生活体育大会支援開始



「昼は会社員、夜は選手」  
OK 貯蓄銀行  
ラグビー団の  
特別な二重生活



2023. 3. 21 (火) 10時 / 大韓サッカー協会  
金浦 FC ユースサッカー選手死亡事件関連  
大韓サッカー協会に対する体育市民団体の立場および公開質疑書の伝達



## 01 世界日報 2023. 03. 21

### 「今は大韓サッカー協会の時間」 青少年自殺で加害者重懲戒質疑書を伝達

国内プロサッカー金浦 FC ユース選手の自殺事件に関する加害者の重懲戒などを含むサッカー関連団体の声明文が大韓サッカー協会に 21 日公式伝達された。 体育市民連帯とスポーツ人権研究所・文化連帯・金浦市民の力など関係者はこの日午前、大韓サッカー協会側に幼少年選手自殺に関連して声明文と公開質疑書を伝達した。

団体は「金浦 FC ユース選手死亡事件に対する大韓サッカー協会も責任がある」とし「協会はその責任を果たすためにいくつかのことがある」と主張した。

これらの団体は▲加害者として名指しされた 18 歳以下チーム (U-18) コーチの重懲戒▲金浦 FC ソ・ヨンギル代表退任▲幼少年サッカークラブ人権実態全数調査▲人権親和的幼少年サッカークラブを作るための大韓サッカー協会の対策作りなどを促した。

団体は「サッカーが好きで上手になりたくて幼少年サッカークラブに所属して運動していた子供が指導者の言語暴力などで極端な選択をせざるを得なかったとすれば、両親の心情はどうだろうか」とし「1 年近くなる今日まで加害指導者はもちろん誰も責任を負わない惨憺たる現実」と声を高めた。 続けて「若い選手たちが暴力といじめのない環境で安全に運動し勉強できることを願う」と付け加えた。

特に「今は大韓サッカー協会の時間」とし「加害指導者たちが道義的責任さえ拒否したまま最近まで子供たちを教えた事実は到底許されない」と批判した。 それと共に「指導者と再契約して遺族に 2 次加害をし子供たちに情緒的虐待を犯した金浦 FC ソ・ヨンギル代表も当然責任を問わなければならない」と強調した。

団体の公開質疑書を現場で受け取った大韓サッカー協会関係者は 20 日、公正委員会(旧賞罰委員会)が開催された点に言及し、今後開かれる第 2 次公正委員会も早急に開催し真相究明と事件解決に最善を尽くすと約束した。サッカー協会によると、懲戒関連事案などを扱う公正委員会は法曹人など協会外部人材 8 人で構成される。前日の第 1 回委員会では死亡した幼少年遺族の陳述を聞く場が用意された。

ただし、最終結果が出るまでは多少時間がかかるものと見られる。委員会が一度の開催で終わるわけではない。第 2 回委員会も少なくとも 2 ヶ月後に開かれるものとみられるが、事案の重大性を考慮して協会側が今後の委員会日程を最大限繰り上げるとしており、所属委員たちの日程などを考慮すれば現在としてはその時期を確答できないためだ。

現場で体育市民連帯など関係者たちに協会側関係者が「いつ 2 次委員会が開かれるのか今すぐ申し上げるのは難しい」と話したのも似たような脈絡だ。協会側は懲戒関連手続きが始まったばかりなので、今後法的争いにもつながる可能性があり、最大限念入りに検討する方針だ。

協会公正委員会規定は「選手に対する基本権侵害」項目で言語暴力など事件が発生したチームの指導者・役員などに対して最小「警告」から最も重くは「無期限資格停止」の懲戒範囲を置いている。球団には罰金や勝ち点減点などの懲戒が下される可能性がある。

すべての事案を総合的に考慮しなければならないという協会側の立場も正しいが、これを眺める遺族は流れる時間の前に心だけが暗くなる。正義党のカン・ウンミ議員室が最近金浦市で受けた事件関連進行事項要旨でも最終結論が出るまで相当時間がかかると予測されたためだ。

このような中で問題になったコーチたちと球団が昨年再契約した事実が知らされ体育界では「適切でない」という批判が提起された。

球団側は捜査機関などを通じた正確な真相把握がなされておらず、先制的に懲戒するのが難しかったという立場だ。事実関係から公式に伝えてもらおうとしたということだ。合わせて「世論を聞いて外部専門家たちが十分に議論したことを土台に関連者たちを処罰するのが適当だと考えた」と再契約理由を明らかにしている。

球団は外部機関の調査が長引き、自主的に厳重に対処する考えがないかのように外に映ったとも抗弁する。再契約もこれらの機関が適時に調査を終えていないため、やむを得ない措置だったという主張も展開したからだ。事案が判明するまで仕事から手を引くよう指示するのは一方的な「解任」通知と変わらないというのが球団の立場だ。

球団は 17 日になってようやく代表理事名義の謝罪文で「非常対策委員会の議決で（加害者と名指しされた）指導者 3 人に対して措置を取ろうとしたが、規定と行政という名目で遺族の方々の期待に及ばなかった」とし「遅ればせながら遺族の方々の意思を受け入れ論難になった指導者 3 人に対する職務停止措置を取った」と明らかにした。

それと共に「遅ればせながら遺族の意思を受け論難になった指導者 3 人に対して職務停止措置を取り、今後厳正に対処して徹底的に終えるようにする」とし「今回のことを契機に現在残っている他の選手たちの指導のため新しい指導者選任および幼少年選手管理保護のため最善を尽くす」と付け加えた。

A 君（10 代）は昨年 4 月、京畿道金浦市にある球団のユースチームの寮前で死亡した状態で発見された。周辺閉鎖回路(CC)TV 映像分析の結果、事件当日午前 2 時頃、自分が居住していたところで自殺をしたことが確認された。遺書には言語暴力などで苦しめた加害者推定人物が言及された。

出典：<https://www.segye.com/newsView/20230321509274?OutUrl=naver>

## 金浦 FC ユースチーム遺族の絶叫「息子よ、お父さんが必ず解決する」



コーチなどからいじめられたと主張してこの世を去った金浦 FC ユース選手、チョン君の死後約 1 年。金浦 FC 球団が事件発生後初めて遺族から正式に謝罪した。

金浦 FC はソ・ヨンギル代表の名前の謝罪文を通じて「故人になった選手と遺族に深い慰労と謝罪の言葉を申し上げる」とし、「遅ればせながら遺族の方々の意を受け論難になった指導者 3 人に対して職務停止措置をし、今後厳正に対処して徹底的に終える」という立場を明らかにした。

### ■残された人にとって地獄のようだった 10 ヶ月…なんで今になって？

事件発生から 10 ヶ月が過ぎたこの時点。約束でもしたかのように、関連機関は急いで謝罪とともに対策を講じているのだろうか。

スポーツ倫理センターは 1 月初め、8 ヶ月余りの調査の末にこの事件に対して「懲戒」を議決した。倫理センターは調査結果、指導者たちの悪口などいじめと管理不十分、基本権侵害などが認められると発表した。倫理センターは懲戒意見で同事件を大韓サッカー協会に移牒している状態だ。

しかし、倫理センターの懲戒議決後も金浦 FC は何の動きもなかった。調査結果がまだ球団側に伝えられていないというのが理由だった。事件以後にも何の分離措置もなしに該当指導者たちと再契約までした金浦 FC は事件発生 10 ヶ月が過ぎた 13 日、ようやく監督とコーチなど 3 人を業務から排除した。

金浦球団側は再契約の理由について、「当時は該当指導者たちに対する調査結果が出ておらず、他の保護者たちの同意を得て契約を延長したものだ」と釈明した中で、先週になって倫理センターの調査結果が到着してその内容を確認した後、指導者たちを業務から排除した」と明らかにした。

警察の捜査も遅々として進まなかった。事件を捜査中の金浦警察署は 2 月と 3 月初めに 2 回にわたりスポーツ倫理センターに資料協力要請公文書を送った。スポーツ倫理センターは「捜査権」のない組織だ。捜査権を持った警察が逆に捜査に対する権限のない倫理センターにこの事件に対して協力を要請したのだ。

警察側は「スポーツ倫理センターが学生と指導者など広範囲に調査をしたと聞いている。情緒的虐待があったかどうかまで幅広く見るために倫理センター側の資料を要請したのだ」と明らかにした。

金浦警察署は来週中に同事件に対する結論を出す予定だ。

### ■刑事・民事訴訟に仮処分申請まで父親だけが孤軍奮闘

この 10 ヶ月間、チョン君の父親はまさに地獄のような時間を過ごした。特に指導者たちが依然として金浦 FC に所属し、子供たちを指導する姿に怒りをこらえることができなかった。

子供の悔しさを誰も前に出て解決してくれないと、チョン君の父親は仕方なく一人のできる限りのことをした。この 1 年近い時間は訴訟戦の連続だった。

指導者たちを刑事、民事告訴し、3 月初めには金浦 FC 幼少年チームを相手に営業停止仮処分申請まで出した。

しかし、何も変わることはなく、戻ってきたのは精神的苦痛だけだった。

「この 1 年間、毎日焼酎 1 本、2 本をつけて暮らしています。憂鬱感と不安感がひどくて精神科にも通っています。精神科医の先生が言っていました。事件当時に何らかの措置が取られていたら、今のよう

んなにひどい状態ではなかったはずで、子供を失った悲しみだけに集中して治療したはずで。怒りがピークに達しています。"

チョン君の父親は、「指導者たちがこれからサッカーボールに絶対触れないようにする」と話した。息子なしで初めて迎えるチョン君の誕生日に、父親は涙の誓いをもう一度した。

「死ぬまで解決するから心配しないで楽に生きなさい。死ぬまで一生後悔させるからお前は楽に生きてここで…」

大韓サッカー協会は 20 日、公正委員会を開き、チョン君の父親の釈明を聞いた後、該当指導者たちに対する懲戒レベルについて議論する計画だ。金浦 FC も 30 日、自主懲戒委員会を通じて 3 人の指導者に対する懲戒を決定する予定だ。

出典：<https://news.kbs.co.kr/news/view.do?ncd=7629771>

### 03 聯合ニュース 2023.03.20

#### 大韓サッカー協会、ユース選手自殺で金浦 FC 懲戒手続きに着手



球団幼少年チームの 10 代選手が極端な選択をしたプロサッカー金浦 FC と関連し、大韓サッカー協会が懲戒手続きに着手した。

サッカー協会は 20 日午後、ソウル鍾路区サッカー会館で 2023 年第 2 次公正委員会を開き「加害者」と名指しされた幼少年指導者に対する懲戒可否を巡り極端な選択をした A 君遺族の陳述を聞いた。

最終結果が出るまでにはある程度時間がかかるものと見られる。

協会関係者は「懲戒関連手続きが今や本格的に始まった」とし「今後法的争いにつながる可能性もあるだけに最大限几帳面に確かめてみなければならない」と明らかにした。

A 君の父親は委員会に出席した後、連合ニュースとの通話で「(事件発生後) 11 ヶ月が過ぎた。単純に早い懲戒より、今徹底した調査がもっと重要だ」として「公論化がなされ二度とこのようなことがなければ良いという意を協会に伝えた」と話した。

A 君は昨年 4 月 27 日午前 2 時頃、金浦市馬山洞の寮の建物で極端な選択をした。

ソーシャル・ネットワークキング・サービス(SNS)に残した A4 用紙 5 枚分量の遺書には、指導者たちの言語暴力、同僚たちのいじめがあったという主張が含まれていると伝えられた。

遺族・市民団体が迅速な真相調査と懲戒を要求した中で球団は特別な措置なしに昨年加害者と名指しされた指導者たちと再契約し指弾を受けた。

金浦側は捜査機関などを通じた正確な真相把握がなされておらず、先制的に懲戒するのが難しかったという立場だ。事実関係から公式に伝えてもらおうとしたということだ。

球団関係者は「世論を聞いて外部専門家たちが十分に議論したことを土台に関連者たちを処罰するのが妥当だと考えた」と明らかにした。

金浦側は、「外部機関の調査が長引き、球団が嚴重に対処するつもりはないように見えた」と抗弁する。問題の指導者たちとの再契約も、これらの機関が適時に調査を終えていないため、やむを得ない措置だった」と主張した。

事案が判明するまで仕事から手を引くよう指示するのは一方的な「解任」通知と変わらないということだ。

金浦側はスポーツ倫理センターがまだ公文書などで事実関係・懲戒決定背景を知らせてきたことがないと指摘した。

昨年5月から調査を始めたスポーツ倫理センターは8ヶ月後の今年初め、監督・コーチなど指導者と一部同僚選手に対する「懲戒要請」を議決した。

当時スポーツ倫理センターは「被害選手が中学校時代に受けたいじめ、指導者の管理不十分、監督とコーチが高校生選手たちに生活規則違反時の携帯電話押収、剃髪など過度な罰則を与え、言語暴力を加えた事実を確認した」と明らかにしたが、球団に関連資料を提供しなかった。

出典：<https://www.yna.co.kr/view/AKR20230320148100007>

## 04 エクスポツツニュース 2023.03.16

### 大韓体育会、2023年種目別生活体育大会支援開始



大韓体育会が3月から2023年種目別生活体育大会支援を始め、生活体育活性化を導く。

2023年全国種目別生活体育大会支援事業は52種目(ゴルフ、バレーボール、バドミントン、氷上、陸上など)83ヶ全国規模生活体育大会を支援する事業であり、同好人選手の技量向上と持続的な参加誘導で生活体育活性化を図ることができるようになる。

また、生活体育大会の種目別分散開催を通じて地方の生活体育振興および地域経済活性化にも寄与する予定だ。

今年3月に開催される3つの大会(第10回大韓体育会長杯市道対抗全国足球大会(3月18日～19日)、第22回大韓体育会長杯全国スカッシュ同好人大会(3月25日～26日)、第40回大韓バドミントン協会長期生活体育全国バドミントン大会(3月25日～26日))を皮切りに、1年間83個の全国規模生活体育大会を支援する。

特に、大会運営基本安全指針とスポーツ人権憲章およびガイドラインを種目団体に配布し、生活体育大会の安全とスポーツ人権実現の先頭に立つ計画だ。

また、4月内に種目団体大会担当者を対象に非対面スポーツ行事安全教育を実施し、生活体育同好人たちが安全で快適な環境の中で大会を無事に行えるようにする。

大韓体育会は「今後も色々な種目の全国規模生活体育大会支援を通じて生活体育同好人たちに参加機会を提供し大会条件を強化して同好人祭りの場を用意する計画だ」と明らかにした。

出典：<https://www.xportsnews.com/article/1700514>

## 05 イーデイリー 2023.03.20

### 「昼は会社員、夜は選手」OK 貯蓄銀行ラグビー団の特別な二重生活



「最初は体が適応できなくて大変でした。今は夜に運動するのが楽しいです。韓国ラグビーの5番目の正式実業チームとして誕生したOK金融グループ「ウッマンラグビー団」の主将、ハン・グミン(28)の言葉だ。

OK金融グループは20日午前、ソウル中区のENAスイートホテルコンベンションホールで創立式を開き、「ウッマンラグビー団」の本格的な第一歩を踏み出した。

「ウッマン」はOK金融グループの「OK」を右回転すれば「ウ(ウッ)」というハングルと形が同じだという点に着眼して作ったOK金融グループのマスコットだ。

ウッマンラグビー団の国内選手たちは正式実業チーム所属だが、それぞれ仕事と運動を並行する。昼間は会社で業務を行い、夜間と週末など業務外の時間を利用して運動をする。

OK金融グループは「働くラグビー選手、働きながら運動を楽しむ」というモットーで2016年からラグビー選手特別採用を通じて44人の正社員を採用した。このうち28人が外国人選手4人と共に25日開幕する「コリアスーパーラグビーリーグ」に出場する。

ハン・グミンは「会社では生計のために貸出審査や債権取り立て業務を引き受ける」として「業務を終えて夜間に訓練しなければならないので、最初は体が適応できず大変だったが次第に選手たちが適応した。今は夜に運動するのが楽しい」と話した。

実際、決心すれば運動にオールインするプロチームのように作ることもできた。実際、OK金融グループは男子プロバレーボールチームも運営している。しかし、ラグビーに対する愛情が格別なチェ・ユンOK金融グループ会長の考えは違った。

チェ・ユン会長は「選手たちがラグビーを通じて経験した人生が本当に幸せだったと感じ、すべてのスポーツにも拡張されてほしい」として「先進国型アマチュアスポーツに挑戦したい気持ちであり、その始まりがウッマンラグビー団だ」と説明した。

初代司令塔も特別な人物だ。まさに日本ラグビー界でも認められている在日韓国人のオ・ヨンギル(55)監督だ。

オ・ヨンギル監督は在日朝鮮人高等学校が大阪朝鮮高級学校(大阪朝高)のラグビー部話を盛り込んだドキュメンタリー映画「60万回のトライ」の実際の主人公だ。大阪朝高を率いて2009年と2010年、2年連続で日本ラグビー全国大会ベスト4入りし話題を集めた。

その後、日本ラグビーリーグワンディビジョン3NTTドコモラグビー団アカデミーコーチとして活動した。2021年には大韓民国代表チームを率いてアジアラグビーセブンスシリーズに出場した。

オ・ヨンギル監督は就任の感想として「成長」を強調した。彼は「中・高校の選手たちがうちの選手たちを見て『私もこのチームでプレーしたい』と言う話を聞いてから韓国で監督を務めることにした」と話した。

合わせて「ラグビーが韓国ではまだ多く知られていないが、ラグビーを通じて選手たちが成長するのを見ることになれば、その魅力を感じられるだろう」とし「選手たちと一緒に成長する姿をお見せする」と誓った。

チェ・ユン会長は「オ・ヨンギル監督は日本と韓国で両方とも能力を認められた優れた指導者だ」として「ウーマンラグビー団が国内舞台を越えてアジアを代表するグローバル名門球団に成長できるよう導く適任者だ」と話した。

オ・ヨンギル監督は「中・高校の生徒たちや地域サークルなどを指導しながら交流すると同時にコーチングスキル、人格教育と一緒に議論すれば韓国ラグビーも日本ほど発展できる」と強調した。

オ・ヨンギル監督を補佐するコーチとしては、2020年東京五輪当時、韓国ラグビー代表チームの初五輪進出をけん引し、闘魂を発揮して多くの感動を与えたアンドレ・ジン（32）が参加する。

昨年現役を引退した後、放送など多様な活動を展開しているアンドレ・ジンコーチは「韓国スポーツが社会発展の様子についていけないと思うが、それでも外から見れば可能性が見える」とし「韓国ラグビーを引き続き助けたくてコーチを務めることになった。今こそ韓国選手たちが次の一步を見せる時だ」と話した。

2021年アジアラグビーセブンスシリーズ当時、韓国代表チームでS&Cコーチ（体力及びコンディショニングコーチ）として活躍したナム・チャンス（55）コーチもコーチングスタッフに合流した。ナムテイコ医学技術専門学校出身のナム・チャンスコーチは、日本の実業チーム NEC グリーンロケッツなどでコーチ経験を積んだ。

出典：<https://www.edaily.co.kr/news/read?newsId=01292326635545288&mediaCodeNo=258>

## 06 週間スポーツニュース

韓国大学スポーツ協議会、大学運動部評価および支援事業実施

<https://www.edaily.co.kr/news/read?newsId=01325126635545288&mediaCodeNo=258>

サッカー記者が見た野球代表チームの不振の原因

[https://sports.khan.co.kr/sports/sk\\_index.html?art\\_id=202303201806013&sec\\_id=510101&pt=nv](https://sports.khan.co.kr/sports/sk_index.html?art_id=202303201806013&sec_id=510101&pt=nv)

「運動の季節がやってきた」 ファッション業界、スポーツブランド「勝負手」

<https://www.dailian.co.kr/news/view/1212839/?sc=Naver>

車椅子を階段に投げ落とした米国スポーツ界の金持ち息子

[https://newsis.com/view/?id=NISX20230317\\_0002230784&cID=10101&pID=10100](https://newsis.com/view/?id=NISX20230317_0002230784&cID=10101&pID=10100)

スポーツ初心者、意欲先行で「痛手」を負う

<http://www.sporbiz.co.kr/news/articleView.html?idxno=647079>

全世界の人気スポーツ 1位なのに…… 「認知症」のリスクを高める

[https://health.chosun.com/site/data/html\\_dir/2023/03/17/2023031701982.html](https://health.chosun.com/site/data/html_dir/2023/03/17/2023031701982.html)



スキューバダイビング！ しっかり知ってこそ安全で面白いスポーツ

<https://www.sisunnews.co.kr/news/articleView.html?idxno=180545>

済州テニススポーツクラブ、小学校 2 校と支援協約・・・「済州テニス拠点へ」

<https://www.spotvnews.co.kr/news/articleView.html?idxno=593482>

「韓国最大の海洋スポーツ」浦項迎日台海水浴場で 8 月開催

<https://www.nocutnews.co.kr/news/5911454>

## 体育市民連帯オンライン 定期後援案内

万人が楽しむスポーツ世界、体育市民連帯が共に作ります。

私達連帯の活動に積極的に賛同していただくことを願います。

私たち体育市民連帯は体育人の権益保護と  
福祉実現のために努力しています。  
皆さんの小さな心づかいがより良い世界のための  
体育市民連帯活動に強固な土台となります。  
体育市民連帯会員として力になろうと  
される方は下の口座に後援お願いします。

国民銀行 086601-04-095940

口座名義：体育市民連帯

オンライン定期後援は下のリンクを通じてホームページからできます。

多くの関心をお願いします。

### INFOMATION

体育市民連帯 ソウル市 瑞草区 瑞草洞 孝寧路 230 スンジョンビル 407 号

Tel : 02-2279-8999、E-mail : [sports-cm@hanmail.net](mailto:sports-cm@hanmail.net) ホームページ : <http://www.sportscm.org/>

日本語訳：佐藤好行 新日本スポーツ連盟 国際活動局 韓国担当 [jr1fep@gmail.com](mailto:jr1fep@gmail.com)

週刊ニュースレターバックナンバー（資料室） <http://www.yg.jpn.org/sportscm/index.html>